

国立特殊教育総合研究所研究紀要 目次

第22巻（平成7年2月）

（原 著）

- ・重度精神遅滞児の社会的相互交渉に及ぼすからだを通じたやりとりの効果 干川隆 1  
- 8
- ・自発的な動きの乏しい重度・重複障害児に対する「からだ遊び」の指導について 徳永  
豊 9-16
- ・肢体不自由児のコミュニケーション・ニーズへの援助 -障害の状態に対応した「書字援  
助システム」による4事例の表現からの考察- 松本廣 17-25
- ・病弱な重度・重複障害児に対する教育的係わりと呼吸状態の関連について -パルスオキ  
シメーターによる酸素飽和度の測定を通じて- 松田直・川住隆一 27-36
- ・特殊教育における教育工学に関する調査研究（V I） -主としてコンピュータ利用の動  
向について- 詫間晋平・成田滋・中村均・棟方哲弥 37-46
- ・特殊教育におけるティーム・ティーチングの導入とその課題 寺山千代子 47-56
- ・青年後期の自閉症の課題に関する一考察-対象関係を中心として- 大柴文枝 57-  
66
- ・聴覚障害を併せ持つダウン症児の聴覚補償 鷲尾純一 67-75
- ・重複障害児の聴覚検査における特定反応行動の形成過程-聴覚障害幼児との比較- 佐  
藤紘昭・菅原廣一 77-84
- ・手話の言語発達とその評価に関する研究 小田候朗 85-92
- ・青年期にある障害者のコミュニケーションと自己意識 -自己意識研究の方法論と関係障  
害への適用- 牧野泰美 93-99
- ・盲児の空間概念の形成-先天盲の事例からの考察- 金子健 101-108
- ・弱視児の学習効率性に関する研究（V I） -指導の場に応じた学習支援の方策と指導方  
法について- 千田耕基・中野泰志 109-117
- ・進行性筋ジストロフィー児の自己形成に関する考察 -思春期の子どもの「お話づくり」  
の分析を通して- 近藤久史 119-127